

登米市のできごと
おしらせします!

永く歌い継がれている唄で

南方で長持唄全国大会

「第6回みやぎ長持唄全国大会（同実行委員会主催）」が12月10日、南方農村環境改善センターで開催されました。長持唄は古くから歌い継がれ、婚礼の席には欠かせない唄として全国各地で愛唱されている民謡です。大会には県内をはじめ長野県、佐賀県など全国から78人の長持唄愛好者が参加。それぞれが個性あふれる歌い方で自慢ののどを披露し、会場に詰め掛けた約600人の観客を魅了しました。なお、審査の結果、佐々木勉さん（南方町）が熟年の部で見事準優勝に輝きました。



▲婚礼の席には欠かせない「長持唄」を熱唱する参加者

もちつきで防火を誓う

北上保育園で防火講習会ともちつき

防火講習会ともちつきが12月6日、北上保育園で開催され、園児や保護者ら約120人が参加しました。幼いころから防火の大切さを学んでもらおうと、同園が毎年実施している行事で、市消防署津山出張所の協力で開催。園児たちは、そろいの法被を着て消防署員の話の聞いたり、幼児向けの防火ビデオを見たりして、防火の大切さを学びました。また、講習会終了後には署員や保護者らと一緒に、きねと臼を使った昔ながらのもちつきに挑戦。大きな声で「火あそびしません」と誓いながら、元気につきました。



▲きねと臼を使った昔ながらのもちつきに挑戦する園児たち

笑いあり涙ありの劇に声援

つやま幼稚園で生活発表会

つやま幼稚園の生活発表会が12月2日、同園で開催され、園児や保護者ら約200人が参加しました。園児たちは、メロディーベルでの演奏や手話で「すうじの歌」を披露。遊戯では8つのグループに分かれて元気いっぱいに踊りました。また、年少と年長に分かれての劇では、はっきりとした口調でせりふをしゃべり、笑いあり涙ありの演技に会場から大きな声援が送られました。最後はクリスマスにちなんでサンタクロースが登場し、園児たちは大喜び。頑張った練習したご褒美となりました。



▲練習の成果を披露した園児たちに大きな声援が送られました



▲懐かしむかのように石越産の農産物や加工品を買い求める在京者

郷土の味や芸能で昔懐かしむ

東京いしこし会総会・交流会

第13回東京いしこし会総会・交流会が12月2日、東京の東天紅上野店で開催され、石越出身の在京者ら約110人が参加しました。総会後に開催された交流会では、赤谷神楽会と石越民謡同好会の会員が郷土芸能や民謡を披露。参加者は昔を思い出しながら、懐かしそうに見入っていました。会場には地元農産物や加工品の販売コーナーが設けられ、ふるさとの味を買い求める人でにぎわいました。また、用意された石越の地酒「澤乃泉」を酌み交わしながら、昔の話や近況などを話す姿も随所で見られました。

給食はどうやってできるの

豊里で学校給食センター見学・試食体験

給食の調理見学と試食を体験する催しが12月15日、豊里・登米学校給食センターで開催されました。給食用の食材が搬入される場所から、調理、配膳、下膳までの流れを地元の人に知ってもらおうと同センターが企画。地区住民、市関係者ら約40人が参加し、施設内の調理場などを見学しました。その後、栄養士から給食に使った食材の説明を受けながら、児童生徒が普段食べている給食を試食しました。参加者は「孫は魚が嫌いでしたが、給食で食べるようになってから好きになったようです」と話していました。



▲孫や子どもたちが普段食べている給食を試食する参加者

夕マゴで交通事故ゼロ作戦

迫で冬の交通安全キャンペーン

「飲酒運転・高齢者の交通事故0（ゼロ）作戦」が12月18日、佐沼の錦橋近くで行われました。この活動は佐沼警察署の協力で、冬の交通安全活動の一環として実施。佐沼地区交通安全協会佐沼支部、佐沼交通安全母の会、佐沼婦人会、市迫地区交通安全推進協議会などの団体から15人が参加しました。参加者は、冬道の安全運転や飲酒運転の根絶、高齢者の事故防止などを通るかかったドライバーに呼び掛けながら、数字の0（ゼロ）に見立てた「ゆでタマゴ」とPR用のチラシを配りました。



▲ドライバーにゆでタマゴとチラシを配り交通事故ゼロを願いました